

観光ガイドブック生成・印刷システム「KadaTabi/カダ旅」の開発

板谷達也[†] 宮川 怜[‡] 國枝 孝之^{‡††} 山田 哲^{††} 後藤田 中[‡] 八重樫 理人[†]

香川大学工学部[†] 香川大学大学院工学研究科[‡] 株式会社リコー^{††} 香川大学総合情報センター[‡]

1. はじめに

多くの観光地で紙の観光ガイドブックが作成され、インフォメーションセンターなどで配布されている。紙の観光ガイドブックは、観光者にとって貴重な観光情報の収集手段である。

一般社団法人小豆島観光協会は、おすすめの観光地を巡る 4 種類の観光コース(小豆島王道コース, 小豆島体感コース, 小豆島癒し旅コース, 小豆島レトロ旅コース^{[1])}を作成し, Web で公開している。小豆島観光協会が作成したモデルコースは, 交通手段を自動車での移動に限定している。また, 観光者が小豆島に訪れた季節や滞在時間までは考慮できていない。

近年地方活性化につながるものとしてニューツーリズムの振興^[2]が注目されている。ニューツーリズムとは, 従来の物見遊山的な観光に対して, これまで観光資源としては気付かれていなかったような地域固有の資源を新たに活用し, 体験型・交流型の要素を取り入れた観光の形態を指す。地方自治体を中心とする観光事業者には, ニューツーリズムを意識した観光振興の取り組みが求められる。

本研究では, 観光ガイドブック生成・印刷システム「KadaTabi/カダ旅(以下, カダ旅と呼ぶ)」を開発した。カダ旅は, 自分の属性に応じた観光ルートが推薦されたガイドブックを生成し, 印刷するシステムであり, これまでの物見遊山的な観光スポットの推薦だけでなく, 体験型や交流型の観光も推薦される。カダ旅は, 生成したガイドブックの数や, ガイドブックを取得した観光者の属性, 時間などを把握するこ

とができる。ガイドブックの元となる観光地の情報は, クラウド上で一元的に管理されており, 複数の場所にシステムを設置してもクラウド上の情報を変更するだけで情報の更新が可能である。

2. 観光ガイドブック生成・印刷システム「KadaTabi/カダ旅」

図 1 は, カダ旅の概要を示している。カダ旅は, 「カダ旅アプリケーション」, 「クラウドプリンタ」から構成される。我々は, カダ旅を Web アプリケーションとして動作するシステムであり, クラウドプラットフォームの Microsoft Azure 上にシステムを開発した。

カダ旅アプリケーションは, 生成済みの観光ガイドブックを印刷する「生成済みガイドブック印刷アプリケーション」, 観光者属性や観光時期などを考慮したお勧め観光ガイドブックを生成し, 印刷する「お勧め観光ガイドブック生成アプリケーション」から構成される。観光者はインフォメーションセンターなどに設置された情報端末からカダ旅を操作するが, お勧め観光ガイドブック生成アプリケーションについては, 観光者の所有する情報端末などでも操作可能である。

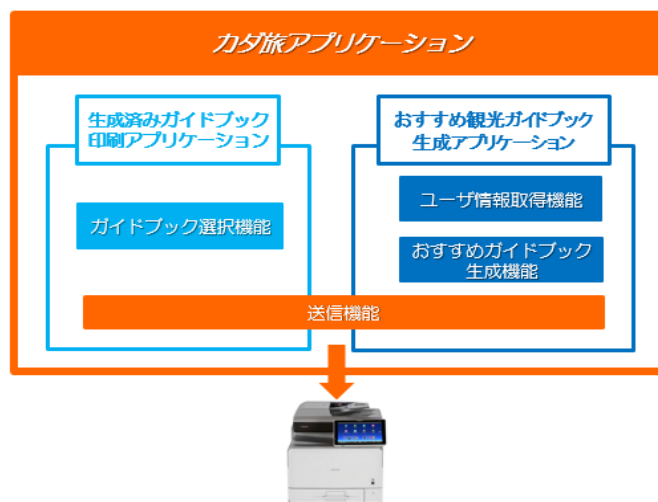


図 1. カダ旅/KadaTabi の概要

Development of Tour Guidebook Generation System (KadaTabi)

‡Tatusya ITADANI ‡ Rihito YAEGASHI

‡ Faculty of Engineering, Kagawa University

† Rei MIYAGAWA

† Graduate School of Engineering, Kagawa University

††Takayuki KUNIEDA †† Satoru YAMADA

†† RICOH COMPANY, LTD

‡‡ Naka GOTODA

‡‡ Information Technology Center, Kagawa University



図 2. カダ旅で生成されたガイドブック

2.1 生成済みガイドブック印刷アプリケーション

「生成済みガイドブック印刷アプリケーション」では、観光者は「ガイドブック選択機能」を用いて、印刷したいガイドブックを選択する。選択されたガイドブックは「送信機能」を用いて「クラウドプリンタ」に送信され、「クラウドプリンタ」から印刷される。

2.2 お勧め観光ガイドブック生成アプリケーション

「お勧め観光ガイドブック生成アプリケーション」では、「ユーザー情報取得機能」を用いて観光者属性を取得する。「お勧めガイドブック生成機能」は、取得された観光者属性とその他の情報(観光地を訪れる時期や訪れる時間、その日の天候や、体験型・交流型の観光の有無など)から、お勧めガイドブックを生成する機能であり、HTML形式とPDF形式の2種類のガイドブックを生成する。PDF形式のガイドブックについては、送信機能を用いて「クラウドプリンタ」に送信され、「クラウドプリンタ」から印刷される。

図2は、カダ旅の「お勧め観光ガイドブック生成アプリケーション」で生成されたガイドブックを示しており、推薦された観光地の情報、その観光地を結ぶルート、所要時間が記載され

る。観光地を結ぶルートに関しては、観光地の緯度、経度から、Google Maps APIs^[3]を用いて表示している。

3. まとめ

本論文では観光ガイドブック生成・印刷システム「KadaTabi/カダ旅」の開発について述べた。現在、システムの有効性を検証すべく実証実験を計画している。

謝辞

本研究を行うに当たってご協力頂いた小豆島町、一般社団法人小豆島観光協会、株式会社リコー、リコージャパン株式会社に感謝する。本研究は、株式会社リコーの共同研究資金の支援を受けた。

参考文献

- [1] “小豆島旅ナビ モデルコース”. http://shodo shima.or.jp/?page_id=8123 (参照 2018-01-09).
- [2] “観光庁 ニューツーリズムの振興”. http://www.mlit.go.jp/kankocho/page05_000044.html (参照 2018-01-09).
- [3] “Google Maps APIs”. <https://developers.google.com/maps/> (参照 2018-01-09).